

掲載紙

モルゲン

MORGEN

This newspaper helps you to think about your tomorrow.

※「モルゲン」はドイツ語で「明日」という意味です。

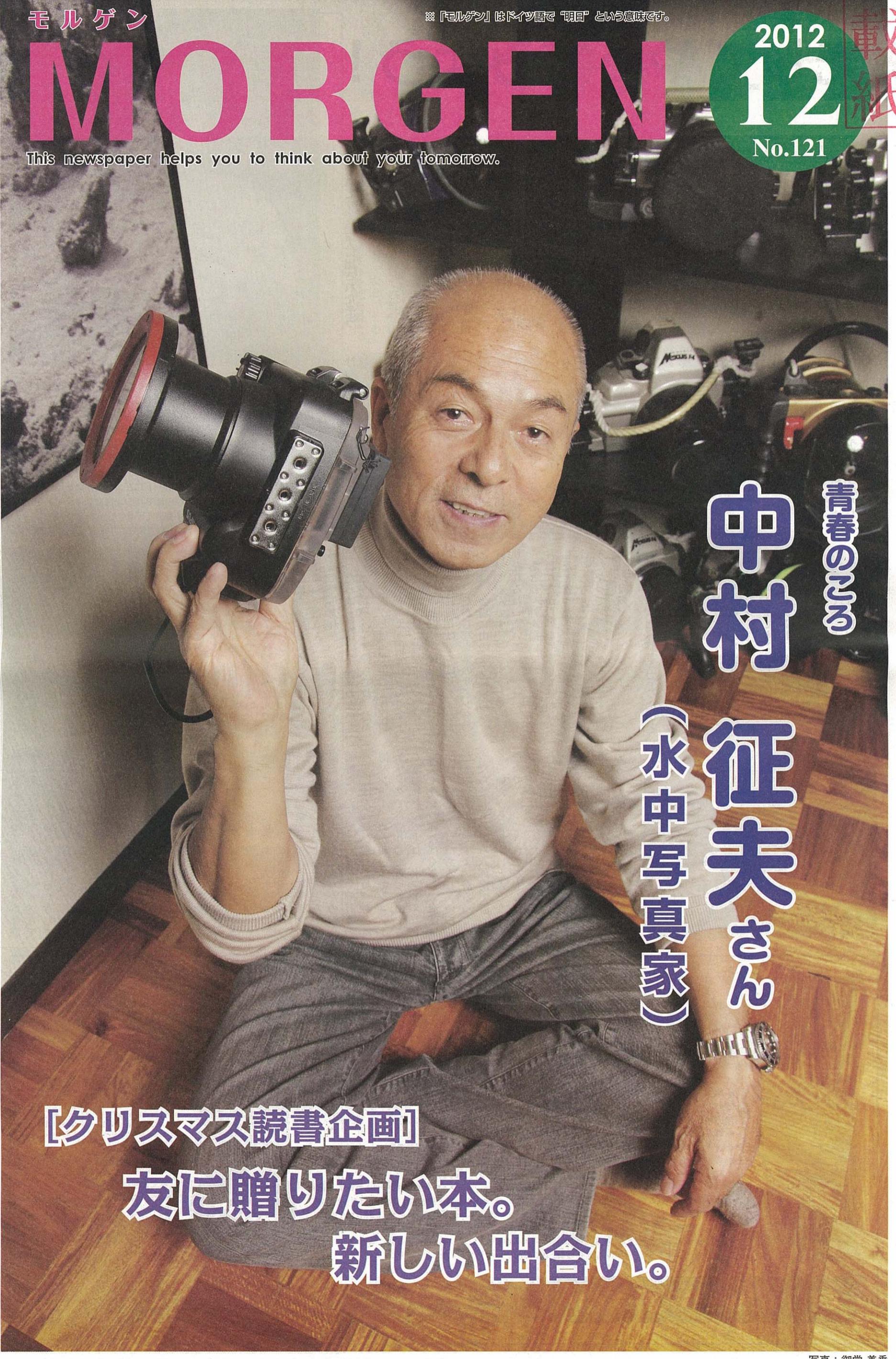
2012
12
No.121

青春のこころ

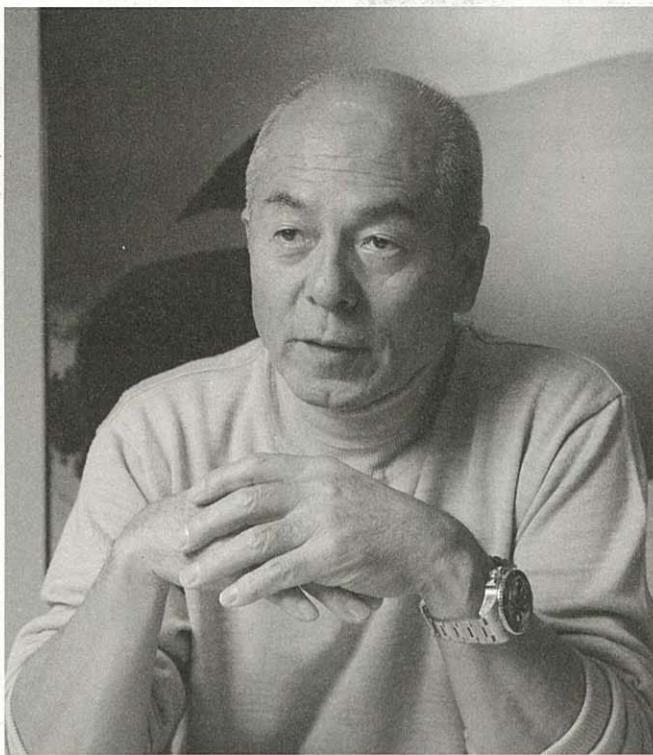
中村
征夫さん

(水中写真家)

【クリスマス読書企画】
友に贈りたい本。
新しい出会い。

A photograph of a man with grey hair, wearing a light-colored turtleneck sweater and jeans, sitting on a wooden floor. He is holding a large underwater camera with a red lens cap. In the background, there are other cameras and equipment. The overall theme is photography and underwater photography.

率先してやってみよう!



生まれてすぐ里子に出されたそうですが

ひねくれませんでしたか?

なかむら いくお 1945年秋田県生まれ。20歳のときに独学で潜水と水中写真を始め、後に専門誌のカメラマンを経てフリーランスとなる。現在、撮影プロダクション「株式会社スコール」、「株式会社中村征夫オフィス」代表。1988年第13回木村伊兵衛写真賞(『全・東京湾』『海中顔面博覧会』)、2007年第26回土門拳賞(『海中2万7000時間の旅』)他受賞多数。国内外の海や自然、人々、そして環境を含めて精力的に取材。ライフワークの東京湾をはじめ、諫早湾のテレビリポートなど、社会性のあるテーマにも果敢に取り組み、報道写真家の顔も持つ。様々なメディアを通して、海の魅力と環境問題を伝え続けている。

なると予測がついたというか(笑い)、これじゃいけない、染まってしまうなってすごく感じたもんだから、ぱつと1年で辞めてしまうんですよ。それで、住み込みの仕事を探し、酒屋で働き始めました。一生酒屋さんをやるつもりはないんですよ。自分の修行というつもりで、見つけたのが明治時代の頑固なおばあちゃんがやっている店で、そこたま商売人の気質というのを叩き込まれるんですね。そこでおばあちゃんに教えてもらったことは今にも通じています。

ある日、50個くらい缶詰が入荷しましたから店頭に並べておきなさいと言われたので、7、8個並べたんですよ。そうしたらこたま怒られるわよ。なにやっているんだ!どーんと全部積めて言うんですよ。だつて全部積んだら売れないんじゃないかと思つたわけ、僕は。早く買わないと、もうないよという気持ちでね。だからそぞろうと思って山のように積んだら、飛ぶように売れるんですよ。お客様は、今こんなに入っているから新しいと思って買っていくんですね。売れ残りはやっぱりダメなんですよ。だから写真集のサイン会のときは、会場に山のように積めて見ているとやっぱりぐれたりで言つてるんです。そうするとやっぱなかなかたな。だからこのお袋にはもう苦労をかけられない、18になつたら家を出て自立しようと思つていました。さらに学費を出してくれなんて、とても言えない状況でしたね。

実家は薬屋だけ、お袋は免許をもつていないので薬は売れないわけですよ。ところがその頑張り具合を聞屋がちゃんと見ててくれたようで、後に試験を受けないかとお袋に勧めてくれましてね。猛烈に勉強して受かつたんです。それで、僕が中学校だったかな、ようやく開店休業状態だった店に薬が入りました。

最初に入った会社が家電販売店で、僕としては社会人になって、ものすごく張り切つていたんですよ。ただ、寮生活で歌番組のチャンネルを奪い合うような30過ぎの大人たちもいて、自分もここにいたらこうなっちゃうし、何をやつてもダメといふか、なかなか認められない。

親父が教育熱心で、非常にきびしかつたんですね。また、すぐ再婚して2歳違いの弟が誕生し、その弟が非常にかわいかつたもんで、なお客さまをつけられて、辛かつたですね。

実家に戻られてからは?

実の兄弟たちになじめないんですね。父親にもなつかないし、僕の家はここではないと思っていました。

だから実家に帰つてくると無口になつちゃうし、何をやつてもダメといふか、なかなか認められない。

親父が教育熱心で、非常にきびしかつたんですね。また、すぐ再婚して2歳違いの弟が誕生し、その弟が非常にかわいかつたもんで、なお客さまをつけられて、辛かつたですね。

18歳で上京しますね

最初に入った会社が家電販売店で、僕としては社会人になって、ものすごく張り切つていたんですよ。ただ、寮生活で歌番組のチャンネルを奪い合うような30過ぎの大人たちもいて、自分もここにいたらこう

その頃はまだ写真家になりたいとは?

完全思つてなかつた。なんの職業でもそうだけど、人生で生きしていくつていうのも一つの仕事じゃないかな。極めるつていうことはまずできないと思うんですよ。上を目指せばいくらでもあるし、でも目指せば目指すほど、自分が豊かになつていくつて思つて。そういうのかな、一生勉強なのかなことを体験していくこと、それで人

実の母親は夏風邪から肺炎になり、僕を産んで2週間後に亡くなつてしまつたんです。ミルクもない時代でお子さんが亡くなつたばかりの、まったく認識もない農家の方に一時預けられる形だつたんです。

僕としては、なんの不自由もなく、天真爛漫というか、それこそ一日中野山を駆け巡つて、そういう幼少のころの記憶がありますね。わずか4歳までしか一緒に暮らしませんでしたが、実家に帰るよりも落ち着くんですよ。だから、今でも迷わず豊川村(現・渴上市)のほうに足が向いてしまうんですよ。

あとね、外を掃いておきなさいと言わされたから外を掃除して終わりましたと、中だつてゴミだらけだらうとくる(笑い)。確かにそうだなつて。そういうことをすごい鍛えられるわけですよ。

海と森と生命のつながりを表現してください。

第4回 鉄鋼スラグ製品と海と森アートコンテスト



海と森と
生命のつながりを
表現して
ください。

作品の
締切は
2012年
1月31日
(当日消印有効)

応募要項

■募集作品:海や山や川や森、そして私たちが暮らす町や都会を舞台に、様々な生命が生き生きと輝き、共存している様子を表現してください。

■応募方法:絵画、イラスト、写真(プリント)のいずれかの方法で表現してください。絵画、イラスト作品の大きさはA3サイズに収まるもの。写真は四つ切りサイズ以内のプリントとします。応募に際しては、鐵鋼スラグ協会のウェブサイト(<http://www.slg.jp/>)の中、アートコンテストのページより応募用紙を印刷し、そこに必要事項を明記のうえ、作品とともに鐵鋼スラグ協会宛に郵送してください。Eメールやファックスなど郵送以外の応募方法はありません。また、以下の各項に関してご了承の上ご応募ください。
■応募作品の著作権、使用権などの諸権利は鐵鋼スラグ協会に帰属するものとします。*審査に関するお問い合わせにはお応えしかねます。

■応募資格:不問
■賞:大人の部(高校生以上)最優秀賞:1点／賞金10万円
子供の部(中学生以下)最優秀賞:1点／5万円

優秀賞(大人、子供に関わらず):6点／各3万円
団体賞(10点以上の応募をいただいた学校や絵画教室などの団体が対象):2団体／各3万円相当の図書券

■応募締切:2012年1月31日(火)当日消印有効
■発表:2012年3月予定(鐵鋼スラグ協会のサイト上で発表します)

■審査委員:中村征夫(水中写真家)、山崎静代(南海キャンディーズ)、鐵鋼スラグ協会調査広報委員会委員

■応募先・お問い合わせ先:
鐵鋼スラグ協会 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鐵鋼会館5階
TEL.03-5643-6016 FAX.03-5643-6018



